

地域医療連携室ニュース 第52号

発行：2015年4月30日
担当：市立池田病院
地域医療連携室 事務局

新緑の候、春の息吹を感じさせる陽気となりましたが、地域の医療機関の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今月の地域医療連携室ニュース第52号をご覧ください。

新任医師の紹介

この度、新しい総長が就任しました。下記の新任医師は地域紹介枠で予約が可能となっておりますので、5月以降も地域医療機関の先生方からのご紹介をお待ちしております。

【総長】



氏名
篠村 恭久
診療科
消化器内科

第13回消化器病研究会

日時：平成27年5月9日（土）
17時30分～19時30分
場所：大阪新阪急ホテル 2階 月の間
特別講演
「胃癌・大腸癌の治療と予防の個別化」
演者 市立池田病院総長 篠村 恭久

【部長・副部長】



氏名
那波 一郎
診療科
神経内科



氏名
識名 崇
診療科
耳鼻いんこう科



氏名
野間 雅倫
診療科
泌尿器科

【医長・医員】



氏名
飛松 秀和
診療科
整形外科



氏名
山口 典高
診療科
消化器内科



氏名
齊木 恵子
診療科
神経内科



氏名
林 裕次郎
診療科
泌尿器科

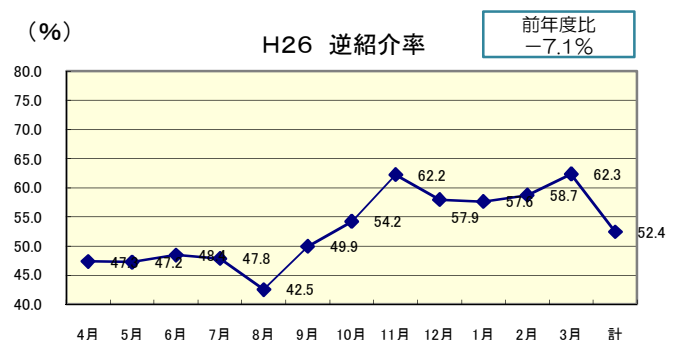
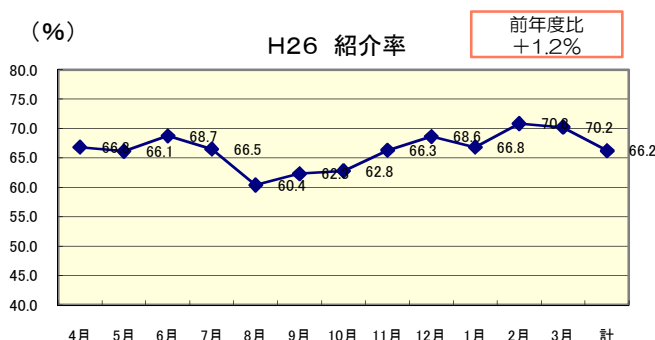


氏名
古川 哲生
診療科
循環器内科

平成26年度 紹介率・逆紹介率

※平成26年4月より地域医療支援病院の要件である紹介率・逆紹介率の基準と計算式が変更となりました。新基準…紹介率：60%→65% 逆紹介率：30%→40%

毎年、多くのご紹介をいただき地域の医療機関の皆様には厚く御礼申し上げます。平成27年度も地域医療連携に、より一層取り組んでまいりますので、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



循環器内科の紹介

循環器内科は、スタッフ4名（永井主任部長、北川部長、二宮副部長、古川医員）が心不全、心筋梗塞、不整脈など急性期循環器疾患全般に対応しています。緊急患者さんには、カテーテル治療（心筋梗塞：冠動脈ステント拡張、徐脈：ペースメーカー植込み、頻脈：アブレーション）を積極的に行っています。重症患者さまには、4階南病棟の集中治療室（ICU）で、多職種チームによる高度医療を提供しています。

特集：心不全について

心不全という言葉をしばしば耳にされると思いますがどういう意味かご存知でしょうか？ 心不全とは病名ではなく、病気である状態を表す言葉です。心筋梗塞、弁膜症、高血圧などの結果、心臓のポンプとしての働きが弱り、1) 全身に必要な血液が供給されない（心拍出量低下）、2) 血液の流れが滞る（うっ血・浮腫）状態が生じていることをいいます。あらゆる心臓病が行き着く終着駅ともいえます。



■心不全の症状

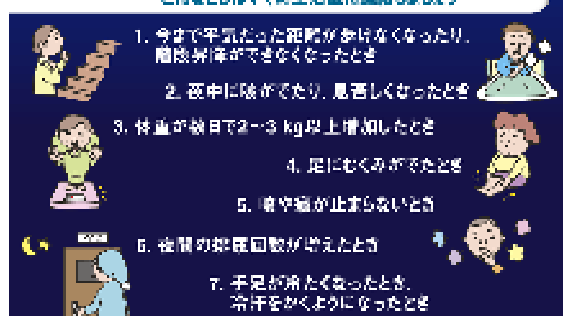
体が膨張する血液が滞り出さないために起こる症状：

心臓に血液が戻りきれないため全身に血液が滞ることで起こる症状：



■心不全の悪化のサイン

こんなときはすぐに主治医に連絡しましょう



■心不全予防のセルフケア

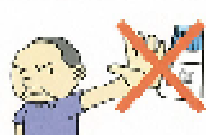
1 運動

心臓を健やかに鍛え、血行を促進させます。



2 水分・塩分の制限

心臓に負担をかけないための水分・塩分の制限が必要です。



5 十分な睡眠・静養

十分な睡眠・静養は、心臓・全身の回復に必要です。



6 禁煙

タバコは心臓に大きな負担をかけ、血行を悪くします。



3 体重管理

毎日、同じ時間・場所で体重を測定し、1週間平均値の増減に注意しましょう。



4 薬量・服用時間調整

医師の指示に従って薬を正確に服用してください。



7 入浴

入浴時、浴室を暖かくし、長時間入浴を避け、入浴後は水分を摂ってください。



8 嗜好品

アルコール・カフェインは心臓に負担をかけます。摂取量を減らしましょう。



4階南病棟

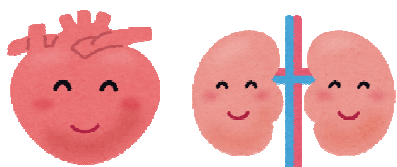
4階南病棟は、手術期と重症者の管理を行なう集中治療室があります。また循環器内科・腎臓内科・皮膚科・形成外科の混合病棟です。

集中治療室

地域の救急病院として、いつでも重症患者を受け入れられるよう常に呼吸器やモニターを準備しています。



循環器内科・腎臓内科のお話 からだの要となる心臓や腎臓の働き



成人のからだの約60%は水分で出来ています。心臓や腎臓が病気になると、その流れが滞ります。



引かないむくみは赤信号



注射や内服薬の効果を血液検査やレントゲン検査の他、体重の推移などで評価します。治療のひとつの目安は体重です。病棟には患者さまの状態にあわせて測定ができる様々な体重計があります。



吊下げ式体重計



手すり付体重計

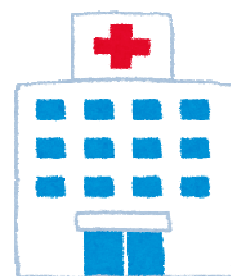


ストレッチャー式体重計

日ごろから普段の自分の体重や血圧を知っておきましょう

皮膚科・形成外科のお話 大切なスキンケア

- ①むくみがあったり乾燥したりすると皮膚が傷つきやすいので十分な保湿をこころがけましょう。
- ②指先や足先も傷つかないように保護、また清潔に保つことが大切です。



外来当番表